

推奨モデル特別賞 ・ ICT 奨励賞

■団体名 新見市立哲西中学校 1年生「哲西 Green ジャーズ」(岡山県)

■企画名 Gi-Navi (Green Innovation × Navigation)

■目的 地域の「人・もの・こと」と関わりながら、生徒自らが地域の誇りである「国指定天然記念物 鯉が窪湿原」の存続のために、課題を見出し、解決に向けた実践で、自然環境の保護と地域活性化を目指している。また、活動を通して、生徒の地元への誇りと愛着心を醸成することも目的としている。

■企画内容 来場者数の増加と、観光スポットとしての認知度の向上を目指した地域貢献と魅力発信活動。

①いつでもどこでも 鯉が窪湿原の魅力を手のひらに！ときめき発見☆デジタルマップ

②湿原への道しるべ おもてなし♡あったかんばん(看板)

■実施期間 2025年5月～2026年1月

■実施場所 鯉が窪湿原、道の駅 鯉が窪、きらめき広場 哲西、市内観光施設や駅、飲食店等

■企画の特徴

フィールドワークや湿原を守る会の方への取材を通して湿原に咲く花を研究し、その特徴からオリジナルキャラクターと紹介文を考え、デジタルマップを制作した。SNS 上に投稿した紹介動画をマップ上の2次元コードから閲覧できるようにすることで、どこにいても鯉が窪湿原の魅力に触れてもらえるようにした。完成したマップは3,000部発行し、来原者の更なる増加と地域活性化を期待し、市内観光施設や商店等に配布するなど広報活動を行った。



湿原までの道のりは、山中の人通りの少ない一本道であるため、訪れる方に安心してもらえるよう、中学生が温かなおもてなしの気持ちを込めて、オリジナルデザインの道案内看板を制作し、市内計4か所に設置した。地域の方からも、「看板のおかげで地域が明るくなった」と嬉しい声をいただき、生徒は地域貢献のやりがいを実感した。



保全活動では、PTA、地域ボランティア、地元企業と共同で環境整備を実施した。湿原の環境保全の一翼を担うとともに、生徒は、湿原の豊かな自然環境が地域の方々の思いによって守られていることを実感し、鯉が窪湿原を保護し続けることの意義を再認識することができた。



鯉が窪湿原の魅力を発信中です。
ぜひ解説動画をご覧ください。